



1号

2020.12

さがみリハ通信



リハビリ病院ってリハビリだけするところ？

さがみリハビリテーション病院で内科医として回復期リハビリ病棟を担当しております山根でございます。長く急性期病院にて診療してきましたが、2年前より当院にて約20人の患者様の回復期リハビリ診療にあたっています。



そこで気づいたことは、私が抱いていたイメージとは異なる回復期リハビリ診療の利点と特徴でした。回復期リハビリ診療が単にリハビリを進めていくだけではないということを強調しながら私の考えを記したいと思います。

リハビリを行うにあたり、患者様の体調がコントロールされていない状況では無理に体を動かしていくことはできません。入院してきたばかりの患者様の中には、肺炎や尿路感染などの感染症、栄養状態の低下、排尿・排便コントロールの困難など様々な身体的不利を抱えた状態の方がいます。まずはその患者様をリハビリが積極的にできる状態になるように内科的管理が必要となります。総合診療のようなスタンスが求められるわけです。

全身状態や栄養状態も改善し、リハビリを積極的にできるようになった段階でも、内科的管理は続きます。栄養状態が改善すると、元々、高血圧や糖尿病がある方は、その数値が悪くなることもあります。それをしっかりコントロールしていき、

将来の健康維持も考え、生活習慣に関わる健康異常の管理も行っていきます。リハビリスタッフの指導の下、実施される日々の運動に加えて、適正な投薬、食事量、塩分の摂取、さらには患者様ご本人の味覚の慣れも獲得し、身体機能の改善のみならず、生活習慣病をしっかりコントロールする場となるわけです。外来診療や短期間の入院ではできない、時間をかけたきめ細かいものとなります。整形外科のリハビリではこれに加えて、骨粗しょう症の管理も行われ、骨折の再発を予防していくことになります。

以上の実現は、医師だけでは不可能です。看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語療法士(嚥下機能もみていく)、さらにソーシャルワーカーも加えてチームとなり患者様の状態や退院後の生活への希望などを情報共有して、退院時の最適な投薬や栄養法を決定していきます。退院後に実現可能な方法を選択していくわけです。

回復期リハビリ病院はリハビリだけをするのではなく、入院中の体調管理とさらに退院後の健康管理までを考えて診療する場であることをご理解いただけたら幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。



さがみリハビリテーション病院 内科 山根 堅司

みんながつながって、見守り合える街を育てよう

行方不明0(ゼロ)を目指した 相模原市民みまもりあい プロジェクト

自宅・施設から検索依頼を配信



関係者



地域の協力者に検索内容が通知



情報を見ながら検索

発見したことをフリーダイヤルで連絡



発見者



関係者

誰もがなりうる“あたりまえの病”と言われている『認知症』。徘徊症状によって道に迷い、自宅に帰ることができずに行方不明の届け出が受理されている件数は年間18,000件近く、その内700名近くの方が自宅に帰ることができていない実情を皆さんはご存じでしょうか。

驚くべきことは自宅から500m以内の距離で亡くなった状態で発見されていることも珍しくないということです。これには地域住民同士の関係性が希薄化している現代社会の課題も指摘されています。“向こう三軒両隣”というフレーズや自治会での世代間交流の機会がなんだか懐かしく感じませんか。

相模原市では認知症サポーターの養成に加えて、2019年から「行方不明0を目指した 相模原市民みまもりあいプロジェクト」が始動しており、認知症になっても安心して暮らせる街づくりが進められています。『みまもりあい』というアプリを活用して、行方不明情報をその地域に所在するアプリ保有者に対して即座に配信し、発見した場合には個人情報保護した状態でご家族や情報発信者と直接電話連絡が取り合えるシステムが導入されています。

この2年の間にも『みまもりあい』が活用されて、行方不明から無事に発見された方もいらっしゃいます。市民ひとりひとりが超高齢社会を生きていく上で『認知症』を自分事として捉え、見守り合い・助け合いがあたりまえの優しい街づくりが実現できることを願っております。まずはアプリ(無料)を手にとってプロジェクトに参加してみましょう。

アプリダウンロードはコチラから

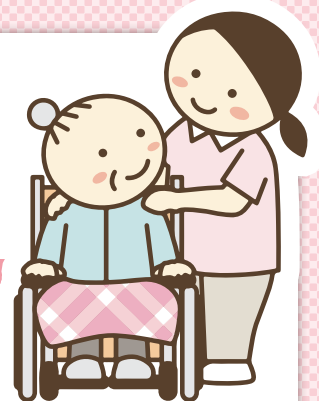


App Store



Google Play

通所介護事業所 **りあくと** ユースフルデイ



2019年11月1日に 通所リハ(デイケア)から通所介護(デイサービス)へ生まれ変わりました。ここで「ユースフルデイりあくと」について再度紹介させていただきます。

＼地域の介護を必要とされる方を対象に様々な職種がサポート!／

看護職員：健康管理や医療的ケアの提供 など

機能訓練指導員：心身機能や生活機能の減退を防ぐための訓練の提供や指導 など

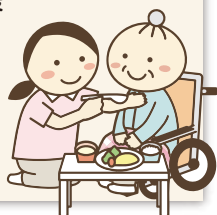
介護職員：入浴や食事、排泄などの生活ケアや機能向上に向けた活動提供 など

個別の計画に
基づいた
様々なサービスを
提供致します。

生活のあらゆる場面での実践トレーニングを行いながら、
“日常生活動作(ADL)”の**拡大**と“生活の質(QOL)”の**向上**が、
出来るよう支援していきます。

サービス内容(通所介護・通所介護相当サービス)

- 送迎サービスの提供 ○食事支援 ○入浴支援
- 心身機能向上支援 ○生活機能向上支援
- 口腔機能向上支援 ○栄養改善支援
- 社会活動、社会参加の促進
- コミュニケーション能力の維持、向上 など



多様なニーズに対応

- 介護職員20名全員「介護福祉士」です!専門的な視点を活かしたケアサービスの提供を行います。
- 7台のリフト車を配置しています。歩行の方から車椅子の方までご利用頂けます。

※通所リハビリテーションから新たに生まれ変わったデイサービスで、リハビリ事業の経験豊富なスタッフが多く在籍しています。皆様の多様なニーズにお応えできるようなサービス提供体制を整備しています。

ご利用日・お時間

営業日：月曜日～土曜日(祝日も営業)

休業日：日曜日、年末年始(12/31～1/3)

ご利用時間：① 午前 8:30～午後 3:40

② 午前 9:30～午後 4:40

お問合せ先

月曜日～土曜日 午前8:30～午後 5:30

住所

〒252-0254

神奈川県相模原市中央区下九沢66-1
通所介護事業所 ユースフルデイ りあくと

TEL:042-700-2621 FAX:042-700-0031

【随時】施設見学 実施中 ※完全予約制

交通案内

アクセスマップ



■電車でお越しの場合

JR 相模線「南橋本駅」下車 西口より 徒歩15分

■バスでお越しの場合

- 「橋本駅」から来院される場合
神奈川中央交通バス【橋本駅 南口1番乗り場 橋58】
 - ・下九沢団地行き→日電寮前下車→徒歩2分
 - ・下九沢団地行き→下九沢団地→徒歩2分
- 「相模原駅」から来院される場合
神奈川中央交通バス【相模原駅 南口8番乗り場 相36】
 - ・下九沢団地行き→日電寮前下車→徒歩2分
 - ・下九沢団地行き→下九沢団地→徒歩2分

病院理念

愛し愛される病院

基本方針

地域の幸福な生活を応援すべく、
「自立と予防」を二本柱に掲げ、
医療・福祉の充実を目指す

病院概要

許可病床数 _____

130床(回復期:106床、療養:24床)

診療科目 _____

内科、神経内科、整形外科、脳神経外科、
リハビリテーション科

診療受付時間 _____

平日 8:30~12:00

※診療科によって受付時間が異なるため、ホームページをご確認頂くか、お問い合わせください。

付帯施設 _____

- ・通所介護事業所 ユースフルデイ りあくと
- ・訪問リハビリテーション
- ・居宅介護支援事業所 タイム
- ・訪問看護ステーション ルピナス
- ・訪問介護事業所 菜のはな
- ・サービス付き高齢者向け住宅 ユノトレメゾンさがみ

リハビリ体制

脳血管リハビリテーション、運動器リハビリテーション

 医療法人社団 哺育会

さがみリハビリテーション病院

代表 ☎ 042-773-3211

〒252-0254 

神奈川県相模原市中央区下九沢54-2

<https://sagami-rh.or.jp/>

